



聖三木図書館70周年によせて



イエズス会日本管区長

佐久間 勤

1953年にイグナチオ教会附属図書室が上智のかまぼこ型建物に引っ越した時から数えて、今年は満70年です。上智やイエズス会を始め、カトリック内外の人々に支えられて古希を迎えることができました。数多い恩人がたのお名前を記すことは敢えていたしません、言外に深い感謝の念をこめて、これまでの歩みを振り返ろうと思います。なお図書館の名称は何度か変更されていますので、便宜のため「聖三木」と略記することにします。

ペーター・クルンバツハ神父（1906〜1990年）が戦後の荒れた人心を慰めるためイグナチオ教会にキリスト教図書を集め、一般にも公開しておられました。1953年にこの教会図書室が上智の教授館の前にあつたかまぼこ



かまぼこ型建物 (画像:上智学院ソフィア・アーカイブズ所蔵)

型の建物に移つてからは「聖三木」初代所長として図

書の充実に努められました。1957年に「聖三木」は、学生寮や同窓会室などのために建設された「上智会館」の2階に入居しました。さらに1970年代なかばに「聖三木」は上智学院に移管され、「聖三木図書館」と改名されています。

ホイヴェルス神父とロゲンドルフ神父の後ろ盾を得てクルンバツハ神父は文学や神学・哲学などの洋書も充実させ、「聖三木」は教授館（現S Jハウスの前身）に住むイエズス会員にとつて図書室としての役割も果たしてまいりました。また神父は頻繁に神田の古書街を見て回り、明治・大正期に日本で刊行されたカトリック書などの和書を蒐集しておられました。学術的にも貴重な300冊余りのこのコレクションは、後に2007年に上智大学の中央図書館に寄贈されました。



初期の台帳にクルンバツハ神父直筆メモ (下の本の上部)

1977年に後を継いだアルフォンス・デーケン神父（1932〜2020年）は1998年まで第二代所長を務められました。神父が開拓した学問分野である「死生学」（サナトロジー）の文献約1700冊のコレクションは文庫の書架で偉容を放ち、しばしばマスコミの注目を浴びるなど、死生学を学ぶ人々に大いに利用されました。

「聖三木」にはもう一つの大きなコレクションが作られました。聖J・H・ニューマン枢機卿の著作、研究書を集めたコレクションです。ニューマンの研究者であったレオ・ウオード神父の蔵書（レオ・ウオード文庫）を基に成立し、ニューマン研究の拠点となりました。

「聖三木」の運営はイエズス会と上智学院・上智大

学とが未分明なままなされて来ていましたが、1984年に完全に上智学院が担うこととなり、図書館も「聖三木文庫」と改称されました。

この時期まで「聖三木」は、①イグナチオ教会附属図書室という起源に由来するカトリックの宣教の場という機能と並んで、②石神井キャンパスに置かれていた神学部図書館（石神井分館）に神学専門書が蒐集されているため四谷キャンパスの中央図書館では必ずしも充実していなかった専門図書を補い、神学講座受講者など四谷キャンパスで勉学し、研究する人々に提供する学術的機能という二つの機能を果たしていました。この特徴は蔵書、とくにコレクションによく表れています。2003年での調査資料によれば和書3万1663冊、洋書2万696冊、学術雑誌24タイトルを所蔵し、先にご紹介したコレクションの他にもアウグステイヌス、トマス・アクイナス、キリシタン関連、シモーヌ・ヴェイユ、エディット・シュタイン、ル・フォールなどのコレクション、またモンテッソーリ教育文献の蒐集もおこなっていました。キリスト教文学や芸術も蒐集の分野でした。このように一般性と学術性を備えた「聖三木」でしたから、一般読者だけでなく学生、研究者にも大いに利用されてまいりました。いくつもの研究書の「あとがき」で、「聖三木」の図書・資料が大いに役立つという謝辞が加えられたりもしました。（次頁に続く）



右: シモーヌ・ヴェイユ、エディット・シュタイン、ル・フォールの資料

一面より続き

21世紀に入って現在の「聖三木」への動きが始まります。2001年に上智大学100周年(短大50年、社専60年も含めて)を目指す長期計画「グランドライアウト(2001〜2013)」が公表され、そこを上智会館の解体の計画も盛り込まれていました。それに呼応して「聖三木」の将来計画策定が直ちに開始されましたが、「聖三木」独特の困難さのため計画確定まで長時間を要することとなりました。イエズス会上智学院との協力により移転を進めるための交渉がなされる一方で、上智会館解体の時期が迫る中「聖三木」の将来を心配する利用者や文化人の声もあがりました。2003年に50周年を迎えた「聖三木」はすでに相当の規模の図書館となっていました。大学の研究機関として維持するとすれば一般利用が制限されてしまい、イエズス会が経営を引き受けるとすれば、一般公開図書館としての「聖三木」は宗教活動の一環としては認められ難い、という問題もありました。それに加えて、私立学校に関わる法令や税制上の規制もあって、「聖三木」をそのままイエズス会に移管することは不可能でした。その他にも多くあった障害を一つひとつ解決した結果、「聖三木」を宣教のための機関とし、イエズス会員とその宣教活動に関心をもつ人々を利用者とする会員制を取ることに、その目的に合わせて蔵書をカトリック関係の和書に限定すること、という基本方針が定まりました。新しい「聖三木」を準備するため2005年にいったん閉館し、上智大学図書館の中で蔵書整理、データベース構築などの作業を進めました。そして2007年に無事、再開に至りました。この間のことや再開後の苦労は『み



新しい図書館システム導入の説明

き』の前号に特集された再開からの15周年の記事をご覧ください。

「イエズス会聖三木図書館」として新たに出版した「聖三木」では、カトリック宣教の場という目的が鮮明になりました。以前の「聖三木」にあった上智大学の研究所としての機能は無くなりましたが、折しも、石神井キャンパスの神学部図書館が四谷の中央図書館に引越して来たため、今では役割分担が可能です。また閉館中に上智の図書館の下で構築した蔵書データベースと検索システムが、再開後の「聖三木」に新しい図書館サービスが可能にしました。「聖三木」は小さな図書館ですが、キリスト教を専門に図書・資料が集められ、スタッフは蔵書に精通しているという、大規模図書館には無い贅沢さがあります。会員の皆様がここでキリスト教に親しみ、信仰を深めていかれますように！

【訂正】『みき』第14号

前号の『みき』2ページに掲載の「聖三木図書館の歴史」年表について、以下のように訂正いたします。

(誤) ヘルマン・ホイヴェルス神父により

「聖イグナチオ教会 付属図書室」として設立
(正) **ペーター・クルンバッツハ**神父により

「聖イグナチオ教会 付属図書室」として設立

今回改めて調査を行い、実際に聖イグナチオ教会付属図書室を設立したのはペーター・クルンバッツハ神父ということがわかりました。ただし、これはホイヴェルス神父の意向であったのではないかと考えています。戦後の復興期で変化もめまぐるしく、「ホイヴェルス神父の意向」という点については裏付けとなる資料もないため、引き続き調査を続けて参ります。付属図書室設立に関して何かご存じの方がいらっしゃいましたら、ぜひ情報をお寄せください。

イエズス会聖三木図書館開館15周年
映画上映&トークイベント開催

2022年12月3日、2007年に「イエズス会聖三木図書館」として再開してから丸15年を記念して、会員向けのイベントを開催しました。

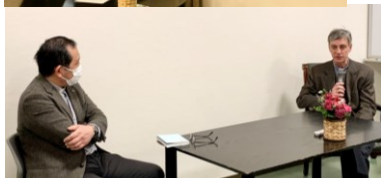
映画『ローマ法王になる日まで』(2017年)の上映、教皇フランシスコの教え子であるホアン・アイダル神父(イエズス会)による講演、アイダル神父・岡本大二郎神父(サレジオ会、ドン・ボスコ社代表)によるトークセッションを行いました。映画についてはぜひ『みき』3号もご参照ください。

アイダル神父の講演は、フランシスコ教皇は常々「考え(思想)と行動は一致しなければならない」と話しており、それを実践する人であることから、教皇になるまでの人生を振り返り、その行動とそこから生まれた思想について考えていくというものでした。

トークセッションでは、岡本神父が興味をもっていった教皇自身の個人的な「コロナ禍(=「活動停止」を強いられる危機の期間。『教皇フランシスコ コロナの世界を生きる』より)についての質問や、参加者の皆さんから様々な質問が上がりました。

初めての会員向けのイベントで至らない点も多々ありましたが、ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。参加者の方からは「ま

たこういふイベントをやってほしい」というお声もいただきましたので、今後にも企画していきたいと考えています。



今季のおすすめ図書

2023年上半期の新着図書の一部をご紹介します。

	タイトル	著者		タイトル	著者
1	キリスト教入門	竹下節子	19	津和野乙女峠 37人の「証し人」	筒井砂
2	証し 日本のキリスト者	最相葉月	20	[図説] 食材と調理からたどる中世ヨーロッパの食生活	ハンネレ・クレメッティラー
3	キリストとともに 世界が広がる神学入門	阿部仲麻呂	21	シャルトルの彫刻たち 聖母の衣の裾に触れる	高野禎子
4	癒しと救い「障害の神学」から「癒しの神学」へ	宮永久人	22	音楽のなかの典礼 ベートーヴェン《ミサ・ソレムニス》はどのように聴かれたか	清水康宏
5	イエスの聖衣(トゥニカ)とフランシスコの僧衣(トナカ)	E. フォルトゥナート	23	教養としてのラテン語の授業 古代ローマに学ぶリベラルアーツの源流	ハン・ドンイル
6	使徒信条の歴史	本城仰太	24	遠藤周作 文豪ナビ	新潮文庫編
7	日本におけるキリスト教フェミニスト運動史 1970年から2022年まで	富坂キリスト教センター編	25	また会う日まで	池澤夏樹
8	聖書語から日本語へ	鈴木範久	26	風神雷神 Juppiter, Aeolus 上・下	原田マハ
9	カテナ・アウレア マタイ福音書註解 上・下	トマス・アキナス	27	パシヨン	川越宗一
10	グノーシス研究拾遺 ナグ・ハマディ文書からヨナスまで	大貫隆	28	フランスの街の夜 遠藤周作初期エッセイ	遠藤周作
11	ローマ教皇フランシスコの生声	J.S.コヤソ/L.ロガク編	29	藍色の福音	若松英輔
12	教皇フランシスコ講話集 9	教皇フランシスコ	カルト問題関連		
13	CATHOLICA カトリック表象大全	スザンナ・イヴァニッチ	30	なぜ救いを求めるのか	島蘭進
14	宣教師の日本語文学 研究と目録	郭南燕編著	31	徹底討論!問われる宗教と“カルト”	島蘭進ほか
15	殉教の日本 近世ヨーロッパにおける宣教のレトリック	小俣ラポー日登美	32	小川さゆり、宗教2世	小川さゆり
16	ヨーロッパが日本に出会ったとき アレッサンドロ・ヴァリニャーノ	南島原市	33	宗教2世	荻上千キ編著
17	聖性への道のり	越前喜六編著	34	宗教2世サバイバルガイド	正木伸城
18	黙想の鏡に映す イエス・キリストの祝福の生涯	ニコラス・ラヴ	35	新宗教戦後政争史	島田裕巳
			36	みんなの宗教2世問題	横道誠
			37	「神様」のいる家で育ちました	菊池真理子
			38	統一教会 性・カネ・恨から実像に迫る	櫻井義秀
			39	政治と宗教 統一教会問題と危機に直面する公共空間	島蘭進編



聖三木図書館からのお知らせ

2023年4月1日より通常の開館時間で開館しております。

今後も状況によりサービス内容を変更する場合がございますので、最新の情報はホームページ（Facebook）、留守電メッセージにてご確認ください。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

開館

月～土 11:00～18:00

日 10:00～17:00

休館日 木曜日、国民の祝日、毎月末

入館時に、消毒・検温、利用カードを確認します。

「当館所蔵資料の閲覧」以外での閲覧席のご利用はお断りしております。

貸出

・郵送貸出も行っています

お電話またはホームページの郵送貸出フォームからお申込みいただけます。発送は着払いのみです。

・貸出延長

返却期限内で、予約のっていない資料に限り、1回のみ延長できます。（新着図書はできません）
開館時間内にお電話またはカウンターのみで受け付け、手続きした日から3週間延長します。
※返却日を過ぎると延長はできません。

・返却した資料を続けて借りることはできません

返却日の翌日から数えて14日間は同じ資料を借りることはできません。

（例）10月1日に返却→10月16日～貸出可能
利用者が平等に資料を利用する機会を確保するため、ご理解とご協力をお願いいたします。

返却

開館中：カウンター 閉館中：1F 返却ポスト

※郵送・宅配での返却も可

問い合わせ

お電話またはホームページの問い合わせフォームより受け付けています。

資料の所蔵確認、調べている事柄に関連する資料の紹介や、調べ物のお手伝いをすることもできます。
質問内容によっては回答までにお時間を頂戴する場合やお答えできない内容もございますので、ご了承ください。

資料の所蔵確認は、館内検索機・蔵書検索サイト（OPAC）にて検索が可能です。サイトはホームページからご覧いただけますのでご利用ください。

利用カードの申込・更新

当館のご利用には登録が必要です。

「聖三木図書館利用カード」（有効期間1年）の新規登録及び更新手続きは、開館時間内に館内カウンターで、または来館せずに行うこともできます。
来館せずに登録をご希望の方は、ホームページの「利用登録」をご確認の上、新規会員登録フォームをご入力いただくか、お電話にてお問合せください。

【年会費】一般	2,000円
上智大生	1,000円
賛助会員	5,000円・10,000円
*1日会員	500円（貸出不可）
当日のみ、資料の閲覧・複写の利用が可能	

登録の際、免許証・保険証など（学生の方は学生証）をご提示いただきます。

利用カード紛失やお忘れの場合は100円（税込）の再発行手数料をいただきます。

2023年4月1日より会員区分・会費の改定を行いました。
上記はすべて税込価格となります。

上記会員区分以外に、イエズス会員、カトリックの司祭・修道者・神学生の会員区分は継続しています。

※団体としての「イエズス会聖三木図書館友の会」は
2023年3月31日をもって解散いたしました。

聖三木図書館報『みき』第15号

イエズス会聖三木図書館

〒102-0083

東京都千代田区麹町 6-5-1 岐部ホール 2F

TEL: 03-3262-0364

ホームページ:

http://www.jesuits.or.jp/~j_seimikibun/

題字: Sr. 北爪悦子(師イエズス修道女会)